

## 4 月を迎え

4 月を迎え新年度の様々な行事が目白押し、新たな人生の船出をする人々が、それぞれの希望に胸を膨らませながら歩むせわしげな季節になりました。

冬のオリンピック開催から始まった韓国と北朝鮮の会話が進んでいるようです。アメリカ本土を標的にした核武装ミサイルの開発に関して、米朝韓の三カ国の事前協議に進み、淡い期待を醸し出しています。トランプ氏がトップ会談を持ち出したことで、失敗は即武力による解決へ進む危険性を秘めている訳です。事前協議も多く地域で行われているようで、良い結論への軟着陸の可能性を考慮してもらいたいものです。合わせて、北朝鮮に対しては、わが国の拉致問題も蚊帳の外扱いはとんでもないことですので、何とか機会を造って協議を行うべきでしょう。



一方国内では、森友学園にからむ政府公文書の改ざんが堂々に行われ、その責任問題を官僚個人に押し付けたりと、一刻も目を離せないことになっているようです。どうしても、長期の政権継続から生み出された弊害の一つかと考えてしまいます。世界に目を向ければ、ロシアや中国の親分たちも、“自分が一番”を前面に掲げて権限拡大が図られ、任期限定が取り払われ、二人目のスターリンや毛沢東が生まれるとも言われているようです。此の側面からは、8 年で押さえているアメリカは、未だ良いですかね。



かかりつけ医を拡大して、自宅での老後や介護を家族に任せる政策が進みつつある今、家族に大きな負担を押し付ける制度を広げることが、最善なのでしょうか？もっとうまい解決方法があるような気がするのです。良い知恵を出し合って、少しでも歪みの少ない穏やかな生活が出来るように模索しませんか？みんなで話し合い、良い方向に駆け出しましょう。

みんなで走れば、こわくないかも……。

平成 30 年 4 月 11 日 院長 清治 邦夫